

2009年夏のボーナス商戦速報。

エコポイントが牽引する家電と停滞するカメラの対比鮮明に

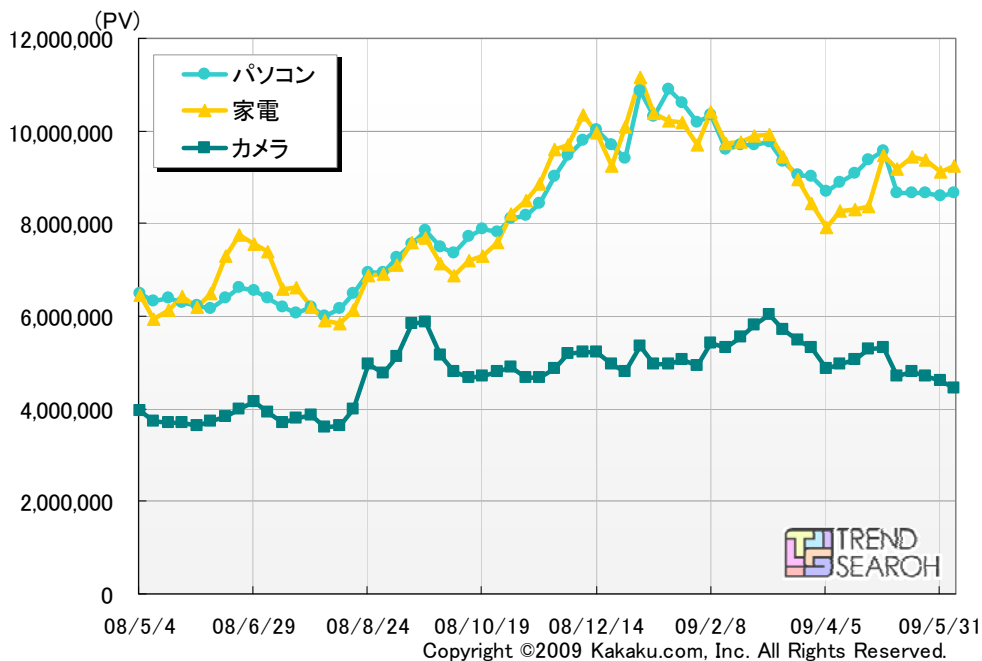
<http://kakaku.com/trendnews/>

月間約1800万人が利用する購買支援サイト『価格.com』に蓄積される、アクセスデータや価格情報などを集計・分析した、レポートサイト『Trend News (http://kakaku.com/trendnews/)』より、価格.comトレンドニュースとして、不定期でお届けします。
今回は、2009年の夏のボーナス商戦の初動について、人気商材へのアクセス動向を見ながら、レポートします。

順調な伸びを見せるパソコン・家電に対し、停滞感を漂わせるカメラカテゴリ

図1のグラフは、価格.comの主要カテゴリである「パソコン」「家電」「カメラ」の3カテゴリのアクセス数の伸びを表している。ボーナス時期の前年比（2008/5/18～6/14と2009/5/17～6/13）をみると、パソコンカテゴリが前年比138.0%、家電カテゴリが147.1%と、いずれも高い伸びを示しているのに対し、カメラカテゴリの伸びは125.9%とややふるわない。価格.com全体のアクセス数の伸びが前年比で142.6%ということを考えると、カメラカテゴリの125.9%という伸びは、むしろ停滞しているともいえる。

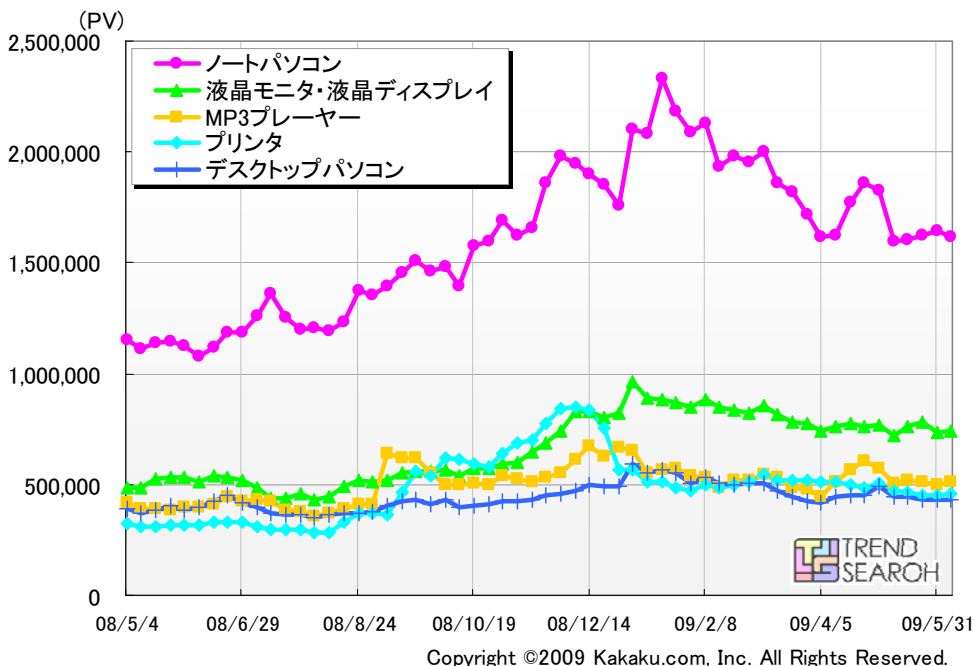
【図1 大カテゴリ別PV数推移】



ネットブックが牽引するノートパソコンカテゴリ

ここ数年、常に厳しいと言われているパソコンカテゴリも、価格の安い「ネットブック」の人気などで、「ノートパソコン」カテゴリのアクセス数は順調に推移している（図2参照）。また、「液晶モニタ・液晶ディスプレイ」カテゴリも、フルハイビジョン対応の低価格な大型ディスプレイが堅調に推移しており、アクセスを伸ばしてきていることなどから、パソコンカテゴリは全体として138.0%（ボーナス時期の前年比）というアクセスの伸びを見せている。

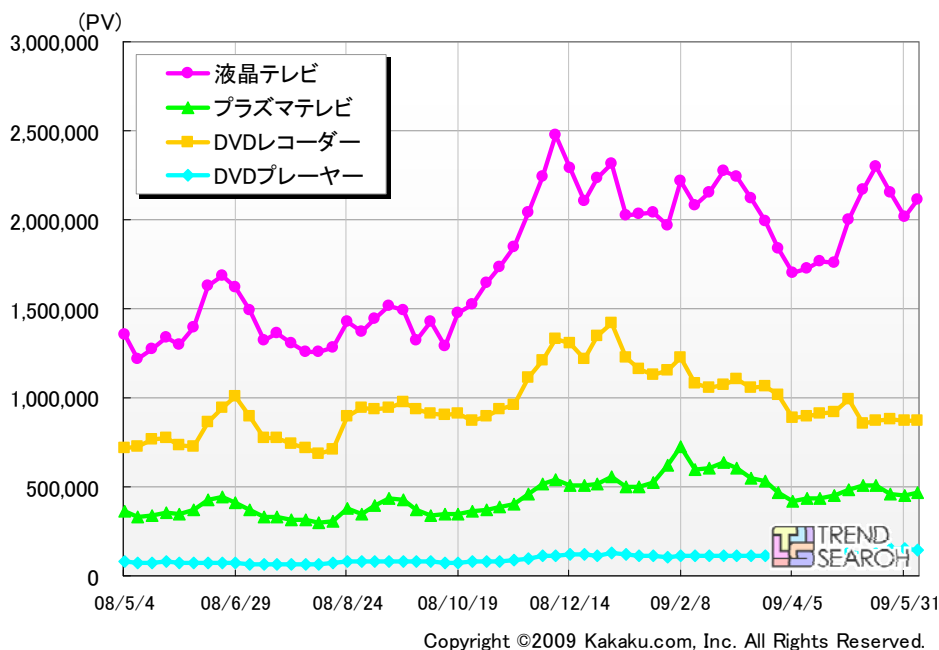
【図2 パソコン関連 小カテゴリ別 PV 数推移】



エコポイント制度の後押しでアクセスを伸ばす家電カテゴリ

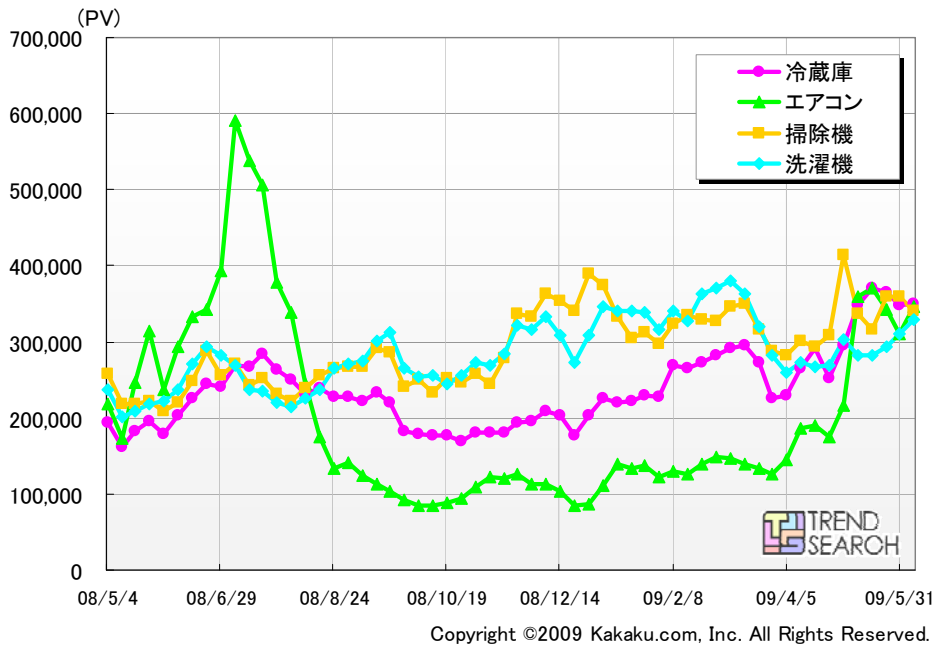
さらに調子がいいのが家電カテゴリだ。家電カテゴリは、液晶テレビの人気によって、ここ数年アクセスを伸ばし続けてきているが、5月より始まった「エコポイント制度」の後押しもあり、4月にいったん沈んだアクセス数も大きく増加に転じている。同じくエコポイント対象となる「冷蔵庫」「エアコン」といったカテゴリも増加を示しており、これに、低価格化が進むブルーレイレコーダーや、ブルーレイプレーヤーといった比較的新しい話題性のある商品も加わって、全体としては147.1%（ボーナス時期の前年比）という高い伸びを示した（図3、4参照）。

【図3 家電関連（AV機器） 小カテゴリ別 PV 数推移】



※「DVDレコーダー」「DVDプレーヤー」は、「ブルーレイレコーダー」「ブルーレイプレーヤー」を含む

【図4 家電関連（生活家電） 小カテゴリ別 PV 数推移】

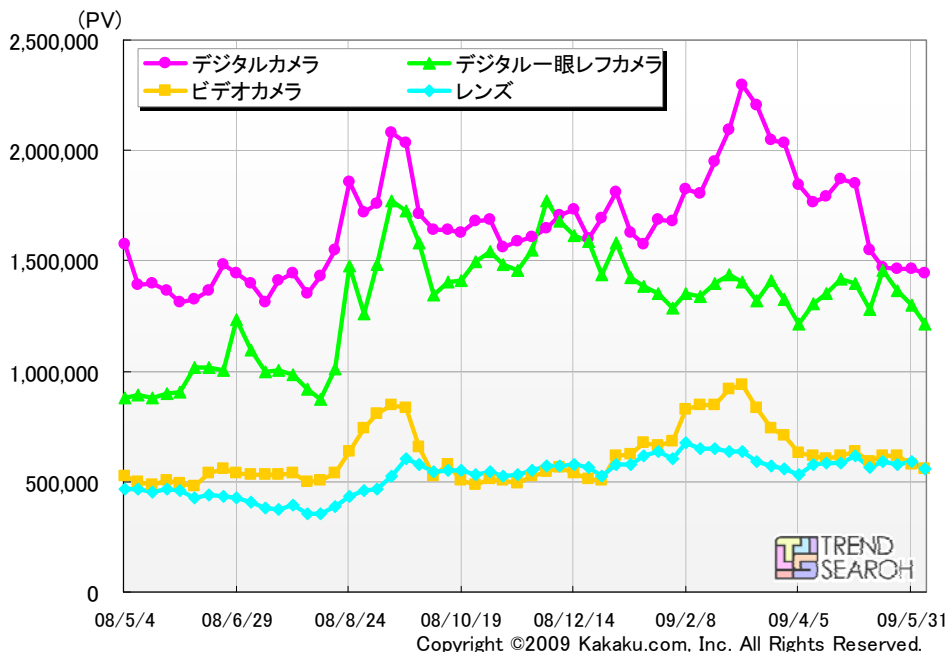


カメラカテゴリ停滞の裏に、デジタル一眼レフカメラ人気の陰り

他カテゴリの好調ぶりに対し、水を空けられた感があるのがカメラカテゴリである。この1年のアクセス数の推移を見ても、カメラカテゴリ全体のアクセス数は昨年2008年の9月以降横ばいを続けており、今年2009年に入ってから、カメラの新製品が多く発表された2月頃をピークとして、むしろ減少傾向に転じているほどだ（図1参照）。

このカメラカテゴリ停滞の理由はいくつかあるが、もっとも大きいのは、ここ数年高い人気を誇ってきた「一眼レフカメラ」の人気に陰りが出てきていることだろう。ここ数年のトレンドとしては、コンパクトカメラよりもむしろ一眼レフカメラに人気が集まっており、カメラカテゴリのアクセスもデジタル一眼レフカメラの人気にあやかって伸びていたのだが、2008年の年末をピークとして、アクセス数はゆるやかに減少傾向に転じている。逆に、最近では小型のコンパクトデジカメのほうに人気が集まっており、この春の新モデルも話題を集めアクセスを伸ばしている。（図5参照）。

【図5 カメラ関連 小カテゴリ別 PV 数推移】



デジタル一眼レフカメラの停滞要因分析

- 1：デジタル一眼レフカメラの普及率が飽和に達してきており、ターゲットユーザーのほとんどがすでに所有している状況となった
- 2：話題となりうるようなデジタル一眼レフカメラの新モデルが存在せず、主力となるモデルは2008年でも出そろってしまった感がある
- 3：2008年秋以降の不景気の流れで、趣味性が高く価格も高めのデジタル一眼レフカメラは敬遠される傾向にある

2009年夏のボーナス購入予定商品、事前調査にも異変あり。

なお、こうした要因を裏付けるものとして、「価格.com リサーチ」が2008年および2009年の5月に実施した「夏のボーナス」に関する回答結果がある（図6参照）。この中でも、この夏のボーナスで購入したい製品のランキングで、デジタル一眼レフカメラは大きく順位を下げており、ユーザーの嗜好性という意味でも、今年の夏商戦、デジタル一眼レフカメラを取り巻く環境はかなり厳しくなっていることが予想される。

【図6 価格.com リサーチ回答結果「夏のボーナスで購入する商品」】

2008年			2009年		
順位	項目	割合	順位	項目	割合
1	洋服・ファッション関連	16.0%	1	液晶テレビ	17.5%
2	液晶テレビ	13.2%	2	洋服・ファッション関連	15.1%
3	DVDレコーダー・DVDプレーヤー	10.7%	3	PCパーツ	10.4%
4	PCパーツ	10.3%	4	ブルーレイ/DVDレコーダー・プレーヤー	10.0%
5	ノートパソコン	8.8%	5	ノートパソコン	8.0%
6	デジタル一眼レフカメラ	7.0%	6	スポーツ用品・アウトドア用品	6.9%
7	ゲームソフト	6.8%	7	家具・インテリア	6.3%
8	家具・インテリア	6.5%	8	コンパクトタイプのデジタルカメラ	5.2%
9	スポーツ用品・アウトドア用品	6.2%	9	ゲームソフト	5.0%
10	コンパクトタイプのデジタルカメラ	6.0%	10	デジタル一眼レフカメラ	4.9%

■総論

以上、価格.com上の主要3カテゴリに関する大まかなユーザー動向を見てきたが、家電関連は、エコポイント制度の後押しもあってこの夏のボーナス商戦も、液晶テレビを中心に堅調に推移するものと思われる。

トレンドニュースの過去のアーカイブは以下URLをご参照ください。

<http://kakaku.com/trendnews/>

【価格.com データ】（2009年5月末現在）

月間利用者 1,842万人、月間ページビュー7億 1,193万PV、累計クチコミ件数約960万件。

【株式会社カカコム 会社概要】

所在地： 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 13F

代表取締役： 田中 実

事業内容： サイトの企画運営

当社運営サイト：<http://corporate.kakaku.com/company/service.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報担当：甲斐 内山

Tel：03-5805-7511 mailto：pr@kakaku.com